

青指ニュース

第 150 号
 発行者
 河内長野市青少年指導員連絡協議会
 広報部

<http://www.kawachinagano-seisyonen.org/~seishikyo/>



青少年音楽フェスティバル開催 (11月15日)

第 24 回青少年音楽フェスティバルが、キックスイベントホールで開催されました。

芝田市長の激励の挨拶で幕を開け、出演グループと個人参加による 10 組の参加がありました。

開演前より観客のお客様が席が埋まっていきました。高校生バンドが圧倒する中、中学生も負けておらずとても良い演奏と歌声でした。

今回の本番前のリハーサルをみてきましたが、本番さながらの演奏はまさに青少年のパワーです。リハーサル時より出演グループに取材をさせてもらい、バンドの名前の由来や誰が一番聴いてほしいのかなどを聞かせて貰いました。

印象深く残っているのが、毎日の弁当に入っているかまぼこがあるそうですが、ある日無い時があったそうです。無くても大丈夫だけど、無いと困る存在がかまぼこだそうです。そのようなかまぼこを英語に訳したのがバンド名 (boiled fish paste) になったそうです。

その他の質問で「演奏を聴いてほしい人は

誰？」回答が多くあったのが、家族の人やお母さんに聴いてほしいとの声が多かったです。

私自身が、取材をしたせいか練習よりメンバーの性格などが良くわかった事もあり、本番では親の心境で聴いていました。

ドラム・ギターなど演奏が多い中 進行中盤ではピアノ演奏があり、飽きさせない音フェスになったようにも思えます。

このようなすばらしい音フェスが成功したのは、早々と仕上げてくださった二重委員長を中心とする実行委員の方々、また今回も音響・照明を担当してくださったベースオントップさんのおかげもあり、素晴らしいステージとなりました。

来年も後輩が出てくれるとコメントを残していただいていたので、来年の音フェスも盛り上がることを願ってやみません。



ものづくり研修 (12月6日)

みのでホールでものづくり研修会が行われました。

午前中は、研修部会の方の指導のもとアロマキャンドルと紙漉きをしました。

始めにアロマキャンドルをしました。

油を熱しながらクレヨンを削り入れて着色をして凝固剤を入れて瓶に入れて人肌に冷ましたところにアロマオイルを入れて固める事を 3 回繰り返して班オリジナルのアロマキャンドルを作りました。

次に紙漉きをしました。

お花紙や落ち葉でひとりひとり世界ひとつの和

紙を作りました。

お昼ご飯は恒例の豚汁と炊き込みご飯に白菜即席づけとお袋の味美味しかったです。ご馳走さまでした。

午後からはピンゴゲームで童心にかえって盛り上がりました。

ものづくり研修会は子どもたちと関わるためのネタを身につける事のできる楽しい一日でした。



平成27年度南青指研修講演会開催 (2月28日)

テーマは「いじめって何ですか？」

～いじめに対する大人の認識を考える～

講師は NPO 法人ジェントルハートプロジェクト理事の小林美里氏。高校入学間もない一人娘をいじめによる自死で失っている。

いじめに対して言うてはいけないのは「やり返せ」。負の連鎖が続くだけ。

いじめを「虐待」と置き換えることができる。家庭の中で起こっている事と同じなのだ。

いじめの被害を受けている3人に一人がつらくて死んでしまいたいと思っている。

「いじめを止めて欲しいと思っている。いじめの加害者により添うことでしかいじめを止める事

はできない」と訴えていた。

場所は松原市民ふるさとびあプラザ、青指協より20名参加。



好きやねん河内長野高野街道ウォーク (3月20日)

昨日の雨が嘘のような絶好のピクニック日和。参加者80名、リーパルスタッフ6名、青指スタッフ26名、総勢112名のウォーキング。

朝9時に長野神社を出発して高野街道～三日市経由して観心寺まで地元の自然を満喫しました。

ランチを川上公民館でいただいて、観心寺のお坊さんから約30分、講話していただきました。

皆さん人間、大事なものは腹式呼吸して常に心を落ち着かせる事だそうですよ。

3時には皆、無事に長野駅に帰り解散。参加者の心がすっきり洗われた1日でした。

皆様、ご苦労様でした。



リーパル頑張っています!

「引率する仲間」としてリーディングパル(以下、リーパル)が立ち上がって3年が過ぎました。平成27年度は学びの森子ども会からの依頼派遣45回に加えリーダー養成事業として3回のキャンプを開催するなど大活躍の1年でした。

今年の3月に行いました小学生を対象にしたキャンプでは、2回もの自炊をするとのことで青指の方にも補助に入って頂きましたが、その心配は無用で、様子を確認しながら参加者をリードする姿、他のスタッフの補助する姿を目の当たりにし、リーパル全体が大きくレベルアップをしたと感じたのは私だけではなかったと思います。

ここに至るまでリーパルのメンバーは、世代の違い、考えや方法の違いなどで時にはぶつかり合い時には涙を流したこともあったと思いますが、各人が山を一つ一つ切り崩して開き心を成長させてきたからこそ今の活動があるように思います。

とはいえ、メンバーの大半が20歳前後という心も身体も成長途中にある若者であり、一人前の大人に育てるには経験豊富な皆さまのご協力がなくてはならず、どうか今後とも孫世代の成長のためにお力添えをお願いします。



千代田中学校区

楽習室「サツマイモの収穫と芋煮」

11月1日(日)

野外で行う楽習室は天候が一番気掛かりであるが、当日は快晴で参加者とスタッフも安堵。

今回も午前と午後の2回に分けて行いました。

自分で植えたときに付けた名札を見つけて一生懸命に掘り、出て来たイモの大小で子どもたちは歓声を上げていました。

恒例のイモ煮を作業の後、食しました。お代わりする参加者も、沢山食べていただくと準備をしたかいがあります。

収穫したイモは参加者(1家族1袋)におみやげとして持ち帰っていただきました。

参加者は楠小学校子ども20人、大人13人。千代田小学校子ども28人、大人22人。来年も実施の予定。

楽習室「簡単紙すきとキャンドル作り」

1月31日(日)

今回の参加者は両校とも少人数でした。時期(募集)的に悪かったのかと思いますが、しかしスタッフとしては参加者と共に和気あいあいと作業が出来たのは良かった。

スタッフも一度研修で経験した事によって作業がすすみ、紙すきなどは平均2~3枚作っていました。キャンドルも素晴らしいものが出来ていました。参加者は楠小学校子ども6人、大人3人。千代田小学校子ども8人、大人2人。



長野中学校区

みんなのスポーツフェスタ2016

3月13日(日)

長野中学校において、長野総合スポーツクラブ主催で行われました。

グラウンドでゲームやダンスなどが行われる中、焼きそばとジュースを助っ人2人を含む11

名で販売しました。

9時過ぎから開店。焼きそばは、1時頃まで休憩時間が取れない位途絶えることなく売れ、ジュース・お茶は暖かくなってからは順調。

焼きそばを袋に入れたがる人が多いのは今の子どもの実態？

「安いね」「おいしい」などの声掛けをいただき、リピーターの顔も見受けられ、心地よい疲労感とともに終える事ができました。



東中学校区

天見小学校クリスマス会にて

「竹鉄砲作り」

12月5日(土)

当小学校の恒例行事に今年も声掛けを頂きました。

児童・幼児約 70 名、保護者・先生・地域住民ら計 120 余名の参加の下。

今回も PTA からのご希望で、子どもたちに竹鉄砲あそびのブースを担当しました。

約 70 名を 2 班に分け、各班 40 分の交代制です。幼・低学年には半完成品を渡し、中高学年には青指メンバーが、鋸とナイフの扱い方、鉄砲の作り方を指導しました。

決められた時間内に最後の射撃まで収まる様、事前に筒竹と芯竹のセットまでの仕込みは欠かせません。また校区内で青指行事が重複し、他校区

から3名の応援もお願いして計8名の経験豊富なスタッフで臨みました。

思い思いの長さの鉄砲も出来上がり、濡らした新聞紙を丸めて弾を作り、的に向かって飛ばします。最初は上手く飛ばなかったり、詰まった弾が取れないと助けを求めたり…。弾の詰め方のアドバイスで一旦要領を得ると、発射音が体育館にこだましていました。

他にも餅つきのブースでぜんざいのふるまいや、PTA 役員と先生によるミニコンサート、サンタさんらによるプレゼントゲーム等、子どもたちの楽しい思い出に残る半日となりました。

無事救急箱の蓋を開けることも無く、スタッフの皆さんありがとうございました。



加賀田中学校区

楽習室「お餅つき」12月19日(土)

地域に定着した恒例の人気楽習室「お餅つき」が、加賀田中学校で行われました。

加賀田青指メンバーもこのイベントに参加することで、年の終わりを感ずるようになっていきます。

いつもより元気な挨拶で子どもたちを迎え、朝から活気のある学校に人がどんどん集まって来ました。

もち米を蒸す蒸気が学校を包んできたころ、辺りは大勢の参加者で賑わっていました。

初めてお餅つきをする小さな子どもから、中学生の力強いお餅つきで笑顔が絶えないひと時でした。参加人数は 200 名で、お餅は大福餅、きな粉餅、磯辺餅、おろし餅を作りました。

楽習室「チリメンモンスター」

1月23日(土)

加賀田小学校で、60名の子どもたちが夢中になる時間を過ごしました。

モンスターという名前に子どもたちは目を丸くし興味津々にはじまった教室は、海の生き物というと、サメ・ウミガメ・クジラなど、大きくてたくましい動物たちを連想する人も多いと思いますが、海の中にはものすごく小さい生き物たちがいっぱいいて、エサとして食べられることで小魚や大きな動物たちの生活をささえているのが、ちりめんじゃこの中に隠れているのがチリメンモンスターです。

手に虫眼鏡を持ち真剣な表情で夢中になって図鑑と照らし合わせながら楽しい時間を過ごしました。



西中学校区

ウォーキングゲームを実施

11月28日(土)

小中学生と一般募集のチームで、通学路を清掃しながら歩く「クリーン作戦」を実施しました。

今年のコースは 西中出発→旭ヶ丘交差点→J A高向前→上原交差点→花の文化園→水管橋→旭ヶ丘住宅内→西中着の約 8 kmです。

当日は天候にも恵まれ、24 組 95 名の参加者は元気一杯、全行程をゴミ袋片手に 2~3 時間で歩き、回収ゴミ総量は 90 kgにもなりました。

大きなゴミはコース途中の中継点までスタッフの軽トラックで回収に回りました。

持ち帰ったチームの回収ゴミの自己申告重量と、実際の重さが近い順に表彰をしたのち、お目当ての野外バーベキューで昼食。

スタッフ 20 名先生 10 名を含め総勢 125 名、中学校の中庭が狭く感じるほどの賑やかな一日でした。



南花台中学校区

南花台ウォークラリー開催 3月20日(日)

桜の花も少し開き始め、良い天気の中南花台ウォークラリーが開催されました。

青指は輪投げのミニゲームで参加。子どもたちが来るまでの時間に、腕を競い合うことも毎年の恒例です(笑)

小さな子どもから、大人まで楽しむ様子が見られました。総勢 169 名の参加者。南花台の中を迷走するチームもありましたが、ゴールでお昼ご飯のカレー、フランクフルトをいただき、無事に終了しました。



美加の台中学校区

「美加の台学園祭」 11月14日(土)

今年から始まった美加の台学園祭。小学校、中学校、地域が一体となって、美加の台小学校で行われました。

午前中は小中学生が縦割りでグループを作り、事前に選んだ体験ブースを回ります。青指は[缶バッチ作り]と[バルーンアート]の2つを担当しました。缶バッチは初めての企画でしたが、2ブースとも子どもたちは意欲的に制作し好評でした。

地域の方の作品展示などもあり、美加の台一体となって活気ある学園祭になりました。

に取り組む姿が見られました。

地道にコツコツ努力すれば、できる様になることを改めて教えてもらった1日でした。



楽習室「オリジナル缶バッチを作ろう」

3月5日(土)

青指主催で第 10 回楽習室を美加の台小学校 理科室をお借りし開催しました。

今回は 11 月に行われた美加の台学園祭でも大好評だった缶バッチ制作です。

手持ちの写真や切り抜きの持ち込みOKで一人4枚作りますと募集したところ大人気! 37名の参加者で賑わいました。

家族の写真やペットの写真、アイドルの切り抜きやもちろん自分で描いた絵等で様々なバッチが作られていきました。

世界に一つのオリジナル缶バッチの出来栄に、みんなの笑顔が弾けていました。

楽習室「けん玉チャレンジ」

12月12日(土)

美加の台健全育成会の横田氏を講師に迎え、美加の台小学校多目的室で、1年生から6年生までの13名の参加で実施されました。

簡単な技から難易度の高い技まで、盛り上げながら一人一人親切に指導され、子どもたちは1UP2UP とどんどんチャレンジしていききました。

講師自身も難しい技は何度か失敗し、「10回チャンスを下さい!」と挑戦し、成功した時は参加者からは大喝采! 僕も私もやってみる! とさら

